

災害に負けない持続可能な地域を目指して ～香川地域継続検討協議会 設立6周年記念シンポジウム～

1. 開催の目的

南海トラフの巨大地震災害の発生により、被害は個々の組織に止まらず四国地域全体に及ぶ恐れがあり、四国が機能不全に陥る恐れが予想されます。このような事態に対応するため「香川地域継続検討協議会」では、連携を前提とした戦略的な取り組みとして地域継続計画(District Continuity Plan:DCP)を策定推進してきました。本取り組みは「四国地震防災基本戦略」に位置付けられています。

このような観点から香川大学では、これまで協議会の事務局機能を担ってきた危機管理研究センターを再編整備し、全学体制でこの計画を推進できるよう新たな組織として「四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構」を平成28年に設置し、2年間活動を実施してきました。

本シンポジウムでは、香川地域の重要機能を担う組織が集う「香川地域継続検討協議会」の活動報告とあわせて、この取り組みが四国全体の地域継続力向上に寄与するための方策を考える場とします。

2. 開催日・場所

平成30年7月18日(水)13:00～17:00 (受付12:30～)

サンポートホール高松 第2小ホール

香川県高松市サンポート 2-1

3. 対象・定員

- ・一般公開 定員200名(定員になり次第締め切らせて頂きます)
- ・事前参加申し込み(下記6. 参照)

4. プログラム

挨拶 吉田 秀典(香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構/機構長)

第1部 活動報告(13:10～13:50)

四国の地域継続力向上を目指して ～香川地域継続検討協議会の活動報告～
白木渡(香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構
危機管理先端教育研究センター長・特任教授)

未来四国を目指して

金田義行(香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構
地域強靱化研究センター長・特任教授)

(休憩10分)

第2部 パネルディスカッション(14:00～16:50)

復興準備と地域連携

話題提供「復興準備の必要性和“build back better”」

加藤孝明(東京大学生産技術研究所准教授)

登壇者 山中晶一(高知市環境政策課係長)

森脇亮(愛媛大学防災情報研究センター長/教授)

草野裕作(伊座利の未来を考える推進協議会)

金田義行(香川大学地域強靱化研究センター長/特任教授)

コーディネーター 白木渡(香川大学危機管理先端教育研究センター長/特任教授)

挨拶 白木 渡(香川地域継続検討協議会/会長)

5. 企画・運営

主催：香川地域継続検討協議会

共催：四国南海トラフ地震対策戦略会議、土木学会安全問題研究委員会

6. 参加申し込み・お問い合わせ

下記メールアドレスに以下を明記にて参加申し込みお願い致します。

1氏名

2所属

3連絡先

4懇親会出欠

(シンポジウム終了後17時30分よりサンポート合同庁舎1階食堂レストランコルネット
会費制2、500円程度)

担当：香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構

企画調整室 谷 綾

TEL:087-864-2544 FAX:087-864-2549

E-mail :kikikanri@jim.ao.kagawa-u.ac.jp